

わんぱく学級活動記録

2月7日(土)、地域の学び舎(宇和島市)スタッフを講師に迎えて、おもしろ実験教室を開催しました。変わった形状の紙飛行機や空気砲の体験など、工作しながら楽しみました。気温も下がり、寒い中で体験となりましたが、学級生は元気いっぱい。自分で作った紙飛行機を飛ばして楽しんでいました。講師の方から、「こんなに喜んで体験してもらったのは初めて。こちらとても楽しかったです♪」と仰っていただきました。

早くも1年が過ぎようとしています。学級生も4月からは中学生。友達との時間をこれからも大切に、素敵な中学生を送ってもらいたいです。

地域の学び舎スタッフのお二人



不思議な飛び方をする飛行機



揚力について学びました



すぐにコツをつかみました！



寒い日でしたが、元気いっぱい



空気の漏れがないように慎重に



アドバイスたくさんいただきました



作った装置に煙を充填して…



的をめがけて空気砲を発射!!





きほくの里人形劇



2月24日（火）きほくの里保育園にて、きほくの里人形劇を開催しました。

恒例の劇団すぎのこさんにお越しいただき、人形劇を披露していただきました。

今年度より、きほくの里保育園を会場とし、園児を対象とした事業としました。認定子ども園さくら、認定こども園ゆずっこの園児も集まりホールは大にぎわいでした。生の人形劇を見る機会はとても貴重で、子どもたちも開演前からそわそわ…。劇団のお兄さんお姉さんの語りやアクションがとても素晴らしく、保育士の先生方にとっても良い体験となったと言っていました。昨年度までは一般の方も対象としていたこともあり、「毎年楽しみにしていた。」「子ども（小学生）と観に行こうと思っていた。」などのご意見もいただきました。また機会を見て、一般公開の年なども検討して行きたいと思っています。



作品名「かさじぞう」



令和7年度の全ての事業を完了いたしました。

皆様のおかげをもちまして、令和7年度の全ての事業を終えることができました。

区長さんをはじめ、体育委員さん、各種団体の役員の皆様大変お世話になりました。

3月13日に公民館運営審議会にて事業報告を行い、次年度に向けての協議を行いました。スポーツ大会、運動会、納涼大会、敬老行事とまたご迷惑をおかけいたしますが、次年度も引き続きコミュニティ事業、公民館事業にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ご寄付をいただきました。（近永地区事業活動寄付金）



谷口様（南町）より、ご寄付をいただきましたのでご報告いたします。心より御礼申し上げます。

寄付者：谷口浩司 様（たにぐち こうじ） 故 谷口運雄 様（たにぐち かずお） ご厚意） 寄付額：50,000円

近永地区の皆さん

大災害への備えについて考えてみましょう

令和8年3月11日、東北大震災から15年の月日が流れました。

死者、行方不明者は2万人を超え、全壊家屋は12万棟以上に及んだと言われています。

現在も、避難生活を送られている人々が何万人もおられます。忘れたくても忘れられない記憶として、私たちの心にもあの日の光景が刻まれています。観測史上最大規模とも言われた大災害から私たちは多くの事を学び、日々の備えの大切さを再認識しました。

定期的に、身の回りの備えを確認しましょう。

家庭で準備する備蓄について、一緒に考えてみましょう。

内閣府HP



以下の記事は、内閣府「防災情報のページ」より抜粋 → 詳細はHPをチェック

3 段階の備蓄品

ポイント

できることから始める！

自宅の備蓄品は、**緊急避難時にすぐ持ち出すもの（1次品）**、**災害発生から3日間を生き抜くためのもの（2次品）**、**長引く避難生活をできるだけ快適に過ごすためのもの（3次品）**と、3段階に分けて備えましょう。さらに外出時の被災に備え、普段持ち歩くバッグにも防災グッズを携帯することを心掛けましょう。



防災ベスト 緊急避難時にすぐ持ち出すもの（1次品）

緊急避難の際に直ぐ持ち出せる、最低限のサバイバルグッズを入れたベスト。地震等の災害発生時には、「防災ベスト」とヘルメットを各自着用して避難する。直ぐ取り出せるように、玄関の近くや子供部屋にハンガーにかけて保管。グッズは、多くのポケットに分散されるので着用時にもそれほど重さを感じない。また、ベストを着用しながら、子供やけが人を背負うことも可能。ポケットが多いアウトドア用ベストでも代用できる。子供が大きくなってきたら、自分の防災ベストの中身は自分で詰めるようにすると防災意識の向上にも役立つ。

非常持ち出し袋 災害発生から3日間を生き抜くためのもの（2次品）

緊急避難後、安全が確保されてから家族が3日間生き延びるための水、食料、生活必需品。内容は、アウトドアの旅行用品をベースに、さらに、応急手当の医薬品、暑さ・寒さ対策の小物等、電気や水道等のライフラインが途絶えたときに必要なものをプラス。膨大な量になるので、持ち運びに便利のように3つに分けて、玄関近くや車のトランクなどに保管。食料や電池等は、年に3、4回は期限などをチェック。避難ロープやレジャーシート等は防災教室などで災害時の使い方を確認しておく。

自宅倉庫の防災用品 長引く避難生活をできるだけ快適に過ごすためのもの（3次品）

自宅のストックルームや庭の倉庫に備蓄している家族の1～2週間程度の食料や生活必需品。3日以上、さらに避難生活が長引いた場合にできるだけ快適に過ごすためのもの。内容は、普段から多めに買い置きしている食料や生活必需品をベースに、さらに非常食をプラス。食器や調理器具はキャンプ用品と兼用。水は、ペットボトルのミネラルウォーターの他、宅配水のストックや光触媒の効果で3年間水の交換が不要なポリタンクも用意。避難生活が長引いた場合、非常食だけで過ごすのは難しいので、レトルト食品やパスタ等、家族が食べ慣れた食品も備えている。賞味期限がせまった食品は普段の食事や趣味のキャンプで使用して入れ替え。

図書新刊

入りました♪



近永公民館貸出図書。
新刊のご案内です。



あrika 瀬尾 まいこ

母親との関係に悩みながら、一人娘のひかりを慈しむシングルマザーの美空。義弟で同性のことが好きな颯斗は、兄と美空が離婚した後も何かと二人の世話を焼こうとするがー。『そして、バトンは渡された』『夜明けのすべて』などで人々のかけがえのない関係を紡ぎ続けた瀬尾まいこが描く、あなたの小さな、でも確かな支えとなる感動の物語！

ピクロスの処方箋 夏川 草介

「君はここまで来るために、何人の患者を死なせてきた？」大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望されながらも、母を亡くし一人になった甥のために地域病院で働く内科医の雄町哲郎。ある日、哲郎の力量に惚れ込む大学准教授の花垣から、難しい症例が持ち込まれた。患者は82歳の老人。それは、かつて哲郎が激怒させた大学院の絶対権力者、飛良泉寅彦教授の父親だった。「医療では、人は救えないんだよ」治せない病は山のようにあるが、癒せない哀しみはない。思想する医師・雄町哲郎は今日も京都の街をゆく。2024年本屋大賞第四位&京都本大賞受賞の感動作。映画化決定！『スピノザの診察室』続編！

探偵小石は恋しない 森 バジル

小石探偵事務所の代表でミステリオタクの小石は、名探偵のように華麗に事件を解決する日を夢見ている。だが実際は9割9分が不倫や浮気の調査依頼で、推理案件の依頼は一向にこない。小石がそれでも調査をこなすのは、実はある理由から色恋調査が「病的に得意」だから。相変わらず色恋案件ばかり、かと思いきや、相談員の蓮杖と小石が意外な真相を目の当たりにする裏で、思いもよらない事件が進行していて――。

熟柿 佐藤 正午

激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは、轢き逃げの罪に問われ、裁判中に息子、拓を出産する。出所後息子に会いたいがあまり、園児連れ去り事件を起こした彼女は息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。自らの罪を隠して生きる彼女にやがて、過去にまつわるある秘密が明かされる。『鳩の撃退法』（山田風太郎賞受賞）『月の満ち欠け』（直木賞受賞）著者による最新長編小説。

さよならジャバウォック 伊坂 幸太郎

森のバカンス 小川 糸

アナツラさま 四島 祐之介

私たちの世代は 瀬尾 まいこ

被告人、AI 中山 七里

PRIZE 村山 由佳

スワイプ厳禁 知念 実希人

変死した大学生のスマホ

